かはら版 特別感謝号

第59回九州医療ソーシャルワーカー研修会 おおいた大会編

早いもので、第59回九州医療ソーシャルワーカー研修会おおいた大会が終了してから、もうすぐ4か月が経とうとしています。おおいた大会にご参加下さいました皆様、さらには大会運営、広告協賛等でお力添えを頂きました全ての皆様へ、改めまして心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

2日間を振り返りますと、『私の未来戦略～next stage of my social work～』という大会テーマのもと、素晴らしい講師の方々にも恵まれ、私が想像していた以上にたくさんの刺激や感動が生まれた素晴らしい大会になったと感じています。皆様にとってはどのような大会になったでしょうか？ご自身の未来戦略のヒントが見出せた大会になっていれば嬉しいですし、本大会を通じて繋がった多くの仲間とのご縁や絆をこれからも大切にして頂ければ幸いです。

私たちソーシャルワーカーは、どの時代においても社会課題に向き合い、問題解決に向けて歩みを進めなければなりません。本大会での経験が、皆様のその一歩を後押ししてくれることを願っております。

大会長　脇坂健史

第59回九州医療ソーシャルワーカー研修会おおいた大会にご参加いただきました皆さん、そしてプライベートの時間を割き尽力してくれた実行委員の皆さんへ、心から感謝申し上げます。さて皆さんにとってこの2日間はどのようなものとなったでしょうか。

本大会では、日本だけでなく、海外も含めた社会福祉の最新動向や実践現場での課題についてなど、我々の仕事への新たな視点を得る貴重な機会になったのではないかと思います。また久しぶりの対面開催ということもあり、日頃会うことのできない仲間との再会や、新たな人との繋がりを持つことができた方もいるのではないでしょうか。

私達ソーシャルワーカーは、社会の変化に応じて、常に学び、成長し続けなければなりません。本大会での学びや、刺激、仲間との繋がりが、今後の皆さんのソーシャルワークを後押しするものとなることを願っております。

そして6月の全国大会では、それぞれ成長した姿で再会できることを楽しみにしています。

実行委員長　妻川真理子

舞台裏～実行委員はその時～

２日間の大会を成功させるため、準備から当日の大会運営、その後のオンデマンド配信整備などをしてきた実行委員と業者さんの様子を一部ご紹介します。

受付

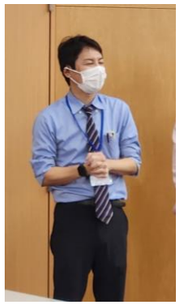
書籍販売

玉田事務局長

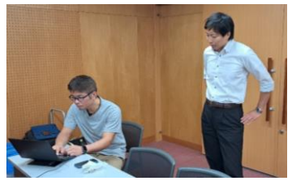
業者さんとPC環境準備

司会

会場統括の中村理事。前日～大会翌日の間、夜遅くまで会場で奔走しました。



アバターロボットを初めて5台同時に動かして、私たちに体験させて下さいました。



全国大会（6月に大分で開催）実行委員も募集中です！事務局までお問合せ下さい。

アバターロボットの体験担当

２日間の大会を無事に終えて、ほっとしている脇坂大会長と妻川実行委員長

脇坂大会長は、１日目終了後、ケーブルテレビの取材も受けました。

★参加者の声～受講の感想をご紹介～

- 有意義な大会で、とても勉強になりました。Zoomで参加できて助かりました。
- ありがとうございました。参加して良かったと心から思います！
- ヤングケアラーとか、まさに今自分が考えないといけない分野だったから、本当に良かった。

この大会は、たくさんの機関・事業所・企業の方々にご協力をいただきました。ここにご報告いたします。

広告協賛数：**73**件

広告協賛金額：**1,027,000**円

協賛くださいました皆様のおかげで、このような大会の実現ができました。ここに改めてお礼申し上げます。

そして大会にご参加くださいました皆様、このご縁に感謝です。

本当にありがとうございました。　実行委員一同

一般社団法人
大分県医療ソーシャルワーカー協会　事務局
〒879-2401　大分県津久見市千怒6011番地
（津久見市医師会立津久見中央病院内）
TEL：0972-82-1123（代表）
FAX：0972-82-8411（代表）
E-mail：info@oita-msw.com
URL:https://oita-msw.com

（一社）大分県医療ソーシャルワーカー協会　2024年1月発行

1日目

令和5年10月7日（土）～8日（日）の2日間、J:COMホルトホール大分にて、第59回九州医療ソーシャルワーカー研修会おおいた大会が開催されました。当日は九州各地はもちろん、全国から現地参加213名・オンライン参加65名、計278名の方にご参加いただきました。2日間の熱気をまとめました。

開会式

いよいよスタート！式の前には大空先生の書籍販売・サイン会も行われました。脇坂大会長も妻川実行委員長も司会の菅さんも、さすがにちょっぴり緊張されていました。

基調講演　ヤングケアラーと孤独対策 ～24時間チャット相談窓口の現場から～

講師：NPOあなたのいばしょ　大空幸星先生

800人以上の相談員を抱え、24時間チャット相談をやっているのは「あなたのいばしょ」だけ。40分間の傾聴で「マイナスからゼロへの支援」をしているというお話や、相談員に対して「本気の他人事」として熱い支援をするよう伝えていることなど、講演を聴いて勇気をもらった方も多かったのではないでしょうか。

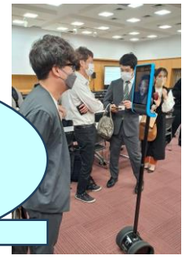
トークセッション　ソーシャルワーカーの未来戦略 ～各国のソーシャルワークの現状と未来～

スピーカー：フランス子ども家庭福祉専門 安發明子先生

ロイヤルコロンビア病院MSW 千原晋平先生

OITA

フランス・カナダとオンラインでつながり、脇坂大会長がモデレーターとして、興味深い各国の状況をお聴きしました。フランスでは、「制度が届くこと」を目的としており、ワーカーがその確認等をしているということ。 カナダでは、SWに求められていることや安楽死ほう助の合法化に伴うSW自身の倫理的ジレンマなどのお話をして下さいました。



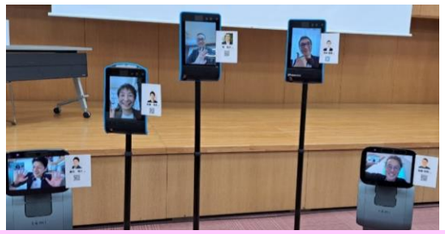
アバターとの交流会もありました。また、対面開催ならでは（名刺交換）の光景も。

2日目　ワークショップ

2日目は、4つのセクションに分かれ、ワークショップが行われました。当日に受講＋オンデマンド配信で別のワークショップを聴いた方もいらっしゃったかと思います。どのワークショップも興味深く、質問も活発に出て大盛況でした。

緩和ケア・終末期医療のソーシャルワークにおける倫理的ジレンマを4分割法で考える
大分大学　教授
上白木悦子先生

マイパーパスワークショップ～1人ひとりのパーパスを言語化し自分らしい生き方、働き方を創造する～
フィッシュ明子先生



テクノロジーと人間のつながり：ICTを活用した医療・介護・福祉の可能性
NPO法人タダカヨ　佐藤拡史先生
青木中央醫院MSW　清水信貴先生
東京福祉専門学校　堀延之先生

尊厳を尊重したソーシャルワーカーのキャリアについて考える
岡江晃児先生
ゲスト：佐倉旬先生

ランチョンセミナー＆癒しの時間

未来を担う若者との語り
筑紫女学園大学3年　中島寧音さん
大分大学3年　森田帆南さん

モデレーター
今尾副会長

昼食　おしゃべりなスプーン×
発達障害専門学習塾marble

大人を幸せにする絵本の読み聞かせ
えほん屋かのこ　岸本由紀子さん

研究発表

大分県協会からは、コスモス病院 御手洗将樹さん（左）と別府リハビリテーションセンター 矢坂侑貴さん（右）のお2人が発表されました。会場はどこも多くの聴講者にあふれ、初心を思い出したり、新たな取り組みのヒントを得ることができました。

閉会式

閉会式では、妻川実行委員長とアバターロボットテミちゃんが挨拶しました。息のぴったりなかけあいで会場もほっこり。感極まった際には、胸が熱くなった方も少なくなかったと思います。次回、九州大会は長崎県開催！脇坂大会長から長崎県協会米倉会長にバトンが渡されました。

6月に大分県で開催される全国大会の告知映像も反響を呼びました。